

事務事業名		非常備消防施設維持管理事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		危機管理室	H28係等名	消防団係	事業種別	経常	開始	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり					
		施策	41	災害対策の推進					
目的	対象(誰・何を)	消防団施設、装備、機関		対象指標	指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	施設、備品等の維持管理			機関数(台)	76			
	向上させたい上位施策の成果指標	市民が災害にそなえている割合(%)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	常時出動できる体制(出動可能機関÷全機関(%))			100	100	100	-	
	副指標	施設及び人材の確保			100	100	100	-	
定性目標									
事業概要	消防団自動車、ポンプ自動車、小型動力消防ポンプ付積載車、C-1ポンプ等の維持管理。								
27年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 常時出場できるよう機関を整備しておく。 (2機関運用の地区の検討、再編成を希望する機関(地区)と周辺地域の出動態勢の確保) 2 詰所の経常経費の管理を行う。				1 常時出動が可能な機関数		1 76台		
					2 詰所維持管理		2 74カ所		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		16,574	24,998	23,060	22,567	(そ) 諸収入 238千円			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		261	236	238	238				
一般財源		16,313	24,762	22,822	22,329				
人件費計(千円)②		715		715					
正規職員所要時間		200		200					
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		17,289	24,998	23,775	22,567				
事業内容・目標達成状況の振り返り	車両更新5台(廃車1台)を行い車両の維持を行うことができた。								
改革改善の考え方	①問題点	現状を維持しながらも、団員確保が困難な現状では、必要に応じて詰所の統廃合を地元の理解を得ながら進めて行く必要がある。							
	②改革提案	現消防団員数に応じた車両(班)数とし、団員の過負担を回避したい。一方で個々の班の消防技術力を高め住民の安全・安心を確保していく。							